

(公表用様式)

業務改善の実施状況報告

組織名	水産庁漁政部企画課	連絡先	03-3502-8415
所管する業務の概要	水産に関する総合的な政策の企画及び立案に関すること 等		

1. 職員の基本的な心構え・行動について

・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
課で作成した問い合わせ等の対応マニュアルやビジョン・ステートメントを踏まえ、意見、要請、苦情等の問い合わせに対する的確な対応を心がけている。	国民から寄せられた意見、要請、苦情等の問い合わせについて、より親切・丁寧・正直に対応することを心がけるとともに、その内容を引き続き部署内で共有し、理解を深める。
政策や水産白書を説明する場合には、専門用語を分かりやすく表現することや、アンケートを通じて意見やニーズを収集するなど、水産業について理解が深まるよう努めている。	分かりやすい説明を常としているものの、込み入った話になったり至急の説明を要求された場合に、難しい説明になってしまうケースが散見された。省全体の政策等の知識を深め、今後も引き続き政策の理解が得られるよう努力していくとともに、急な問い合わせにも対応できるよう、資料等を常備する。

2. 国民視点に立った業務の遂行について

・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
説明の際は、専門用語は分かりやすい表現に変えるなど、簡潔な文章と分かりやすい図表・パンフレット等を用い、様々な機会をとらえて施策を説明している。	引き続き、分かりやすい表現と見やすい資料による説明を心がけるとともに、相手が理解できているかどうか逐次注意を払う。また、これに加え、課の職員同士で説明ぶりについて確認し合うようにする。

水産関係の有識者や都道府県等の担当者から、現場の現状・課題について情報収集を行い、政策ニーズ等を把握する取組を続けている。	当課では、都道府県からの出向者も数名在籍しており、普段の業務の中でも都道府県の実情について情報収集をしているところ。今後も引き続き、水産関係の有識者や都道府県等の担当者から情報収集等を行うとともに、現場（浜）に直接出向き関係者に施策の説明をしつつ意見を伺う場を開催し、現場に根付いた政策の企画及び立案を心がける。
--	---

3. 業務を適切かつ円滑に遂行するための職場環境づくりについて	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
課内でヒヤリ・ハット事例を共有し、各職員が業務に潜む危険に対して、危機意識を持ちながら業務を進めている。	ヒヤリ・ハット事例を共有し自らの業務に置きかえて業務の手順の改善に努めることとしていたが、ヒヤリハット事例をメールで送信するだけの共有方法であったため、今後は、課員同士で定期的に課内会議等の場で意見交換を行うなどして、的確な共有を図る。
水産業の現状・課題や水産政策について、第三者からの意見・評価を積極的に聞いている。	引き続き、第三者からの意見・評価を積極的に聞き、それを意識した水産政策の企画及び立案を心がける。また、打ち出した政策が実際に現場で機能するのか絶えず検証する。

4. その他の農林水産省改革を進めるための取組について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
「食の安全」に関する報道等のチェックや、都道府県等との連絡をとりながら現場の状況の把握に努めるとともに、庁内での「食の安全」確保に係る業務点検に参加し、課としての取組の検討を行っている。	庁内での「食の安全」確保に係る業務点検に基づき、今後の政策の企画及び立案の立場から積極的に関与していくこととしていたが、今後は、これに加え、他の課と食の安全に関して意見交換を行う場を設けるなどして、より積極的に関わっていく。